

# 元気な十和田市を目指して

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

市長就任以来、市民の皆様との温かいご支援とご協力を大きな力としながら、「元気な十和田市」の実現に全力で取り組んでまいりました。新春に臨み、諸課題の解決と着実な施策の実行に向け、決意を新たにしているところでもあります。

さて、昨年を振り返りますと、長引く経済不況

「十和田市」を目指してまいります。

本市の基幹産業である農業の振興については、地域資源を生かし産地力強化のための戦略的な販売体制の構築や、主要作物のさらなるブランド化の確立などを推進し、経営安定に向けた取り組みを実行してまいります。

中央病院については、地方公営企業法の全部適用に移行しましたが、引き続き地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく経営健全化計画を策定し、その着実な実行を図りながら、医師確保をはじめ、さらなる経営改革に取り組んでまいります。

中心市街地の活性化については、昨年3月に国から認定を受けた計画に基づき、今年度は官民合作で約20事業が実施予定であり、特に旧松木屋跡地においては、観光物産交流機能を備えた複合商

や夏場の記録的猛暑などにより、本市の産業、経済界は大きな影響を受けました。そのような中であつて、4月には官庁街通りにアート広場が新たに整備され、野外芸術文化ゾーンがグランドオープンいたしました。現代美術館をはじめ、アート広場にも数多くのアート作品が展示され、開館以来3年目で入館者が50万人を超えるなど、県内外から多くのかたが本市を訪れております。

また、「十和田バラ焼き」が、B級ご当地グルメの祭典「B-1グラン

業施設が11月にオープン予定となっております。

雇用対策については、国・県の支援事業を活用した雇用対策事業により、昨年は4月以降約120人の雇用を創出しましたが、本年も引き続き失業者対策や地域求職者などの雇用の確保に取り組んでまいります。

そのほか、安全・安心なまちづくりのために、市民の皆様と一緒に作ったセーフコミュニティの推進や健康づくりを進めるとともに、高齢者などの福祉充実に鋭意努めてまいります。

このような取り組みを進めるとともに、新年度の予算編成においては、事務事業の「選択と集中」による財政の健全化を図る一方で、基幹産業である農業の振興をはじめ、景観豊かな自然資源を守り後世に引き継ぐための低炭素社会実現の取り組み、子育て支援、市

「プリン厚木」において初出場ながら入賞し、「北海道・東北B-1グランプリ」では、見事2年連続優勝いたしました。このことは、元気なまちづくりを目指す民間の有志が中心となった活動の結果であり、全国にバラ焼きを通して本市の情報が発信されるなど、経済効果も大きなものがありました。

そのほか、12月4日には待望の東北新幹線が全線開業し、圏域に七戸十和田駅が開業するなど明るい話題がありました。しかしながら、地方自

民と協働によるまちづくりなど、将来を見据えた戦略的あるいは特色ある事業を実施するため、予算に特別枠を創設し、各種施策を積極的に展開してまいります。

本年も市民と行政との確かなパートナーシップのもとで、「元気な十和田市」づくりに、全力を傾注してまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝、ご多幸と、本市にとりまして明るい年でありますよう祈念し、新年のごあいさつといたします。

治を取り巻く環境も厳しさを増し、本市においても基幹産業である農業と観光の振興や中心市街地の活性化、中央病院の運営の健全化など課題が山積してまいります。

こうした中、観光の振興については、本年4月23日からJR6社と地域観光関係者、自治体などの協力により開催される「青森デステイネーションキャンペーン」に合わせ、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、受入体制の整備充実など、なお一層おもてなしの心と行動をもって、「また来たい



十和田市長 小山田 久

Oyamada Hisashi